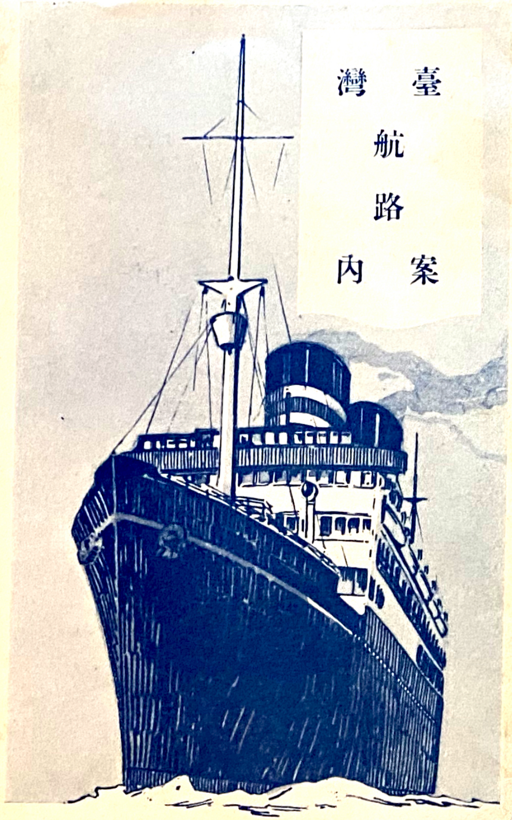
臺灣航路案内



近海郵船株式會社

基隆

各船とも第二又は第三岸壁に繋留致します。汽船の繋留場所と停車場間は精々百歩位のものであります。當社の支店は驛直前にありますから切符の購入、手荷物の托送には至極便利で御座います。尚支店樓上は船客待合所となつてゐますから御乘下船とも御立寄御使用下さい。

手荷物は左の通り運搬致しますから基隆入港の前夜迄に船員へ御委托を願ます。

基隆驛渡	壹個に付	十五錢
臺北驛渡、同市内配達	同	卅錢

手荷物壹個の重量は約百斤以内です。

手荷物

□手荷物は陸揚地、航海中要、不要等に依り船内積入場所を異にし其の取扱並に積卸の錯誤を防ぐため、姓名、行先地、船名並に「航海中入用」「航海中不用」等の區別を明記したる荷札を緊結下さい。荷札は御申出になればいくらでも差上げます。

□手荷物は左記數量迄は無賃運送致します。

手荷物無賃制限量（括弧内の數字は船車連帶の場合に適用す）

等級	社船	省線又は部線
一等	二十才又は百五十斤（九十斤又は〇・六立方米）	六十斤
二等 甲乙	十五才又は百二十斤（七十斤又は〇・四立方米）	四十斤
三等	十才又は六十斤（卅五斤又は〇・三立方米）	三十斤

無賃制限量を超過するときはその超過數量に對し一立方尺（〇・〇三立方米）又は十斤（六斤）毎につき左の通りの運賃をいたゞきます。

神戸—門司相互間	二十錢
神戸—基隆相互間	三十錢
門司—基隆相互間	三十錢

□普通携帶せらるゝ小風呂敷包、毛布、手提鞄、等の如き小形手廻品竝に甲板椅子（一人一個限り）等は無賃で取扱致します。

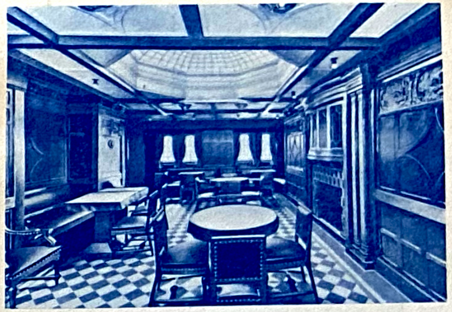
□御赴任又は御轉任の際御引越荷物等は一切當社各支店代理店及國際通運支店、取引店にて丁寧に且つ低廉に引受海陸連絡の運送を致します。

定期

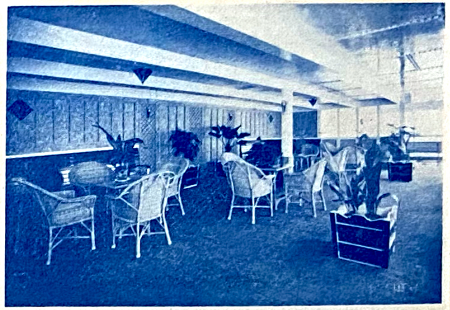
出帆日は毎二週三回（例へば第一週の火曜日土曜日と次週の木曜日といつたように）で左の通りです。尚日時は各地主要新聞に廣告してあります。詳細は最寄支店代理店へ御照會下さい。

發着地名	船名	臺灣行 神戸發	臺灣行 門司着	臺灣行 門司發	臺灣行 基隆着	內地行 基隆發	內地行 門司着	內地行 門司發	內地行 神戸着
夏季（自四月至九月）	船名	正午	前六時	正午	后一時半	前十時	后二時	后六時	后一時
	吉野丸	火	水		金	火	木		金
	朝日丸	土	日		火	土	月		火
	大和丸	木	金		日	木	土		日
冬季（自十月至三月）	船名	正午	前七時	正午	后三時	后四時	前八時	后一時	前八時
	吉野丸	月	火		木	月	木		金
	朝日丸	土	日		火	金	月		火
	大和丸	水	木		土	水	土		日

基隆着は速力潮流の關係上早い時は午前十一時頃のこともあります、大概一時頃迄に入港します。



喫煙室



ヴェランダ

遊歩甲板

當社支店代理店

◆本店及支店

本店	東京市丸ノ内郵船ビル 電話丸ノ内（二三）二五一一—二五二九、二五三一—二五三七
神戸營業所	神戸市海岸通リ一丁目 電話三宮一二九一—一二三五
基隆支店	基隆驛前 電話六一、六二、六三、
臺北船客切符發賣所	臺北驛前 電話六八一・七〇七
臺南船客切符發賣所	臺南市三井物産支店内
高雄船客切符發賣所	高雄市三井物産支店内
東京支店	日本橋區蠣殻町二丁目一番地 電話茅場町二四一—二四七
天津支店	佛租界河岸 電話三〇三五四、三一二一三
函館支店	函館市船場町 電話三九〇〇（代表）
小樽支店	小樽手宮町 電話三三二、四二三

◆代理店及切符發賣所

日本郵船株式會社

東京船客切符發賣所	東京市丸ノ内郵船ビル 郵船船客課内電話本店に同じ
横濱支店	横濱市海岸通四丁目十八番地 電話本局（二）三八三一—三八三七、（三）九三一—九三七
名古屋支店	名古屋市中區天王崎町四番地 電話本局一一七一（代表）
大阪支店	大阪市西區川口町廿五—廿六番地 電話西三五一—三五七、三八三
大阪船客切符發賣所	大阪市東區堺筋白木屋百貨店向側 電話本町一、六四五—一、六四六
門司支店	門司市濱町六番地（驛前） 電話四二、四三、八三
下關船客切符發賣所	下關市西南部町國際通運支店内 電話特四六、一三、三四〇
長崎支店	長崎市常盤町四番地 電話二九五〇
京都郵船組	京都市大宮通リ七條下ル 電話三二二、二四四六

臺灣航路案內

近海郵船株式會社

（昭和五年三月）

使用船と設備

船名	總噸數	速力
大和丸	九、八〇〇噸	十八浬
朝日丸	九、七五〇噸	十八浬
吉野丸	九、〇〇三噸	十七浬半

□何れも船客定員八百餘人を有する一萬噸級の大型客船で本航路切つての**最大、最新、最速、最美**の定期船として自他共に許されてゐます。

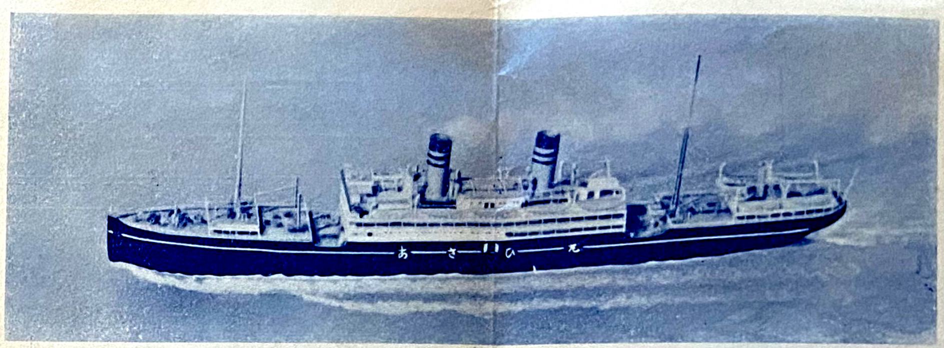
□各等**客室は總て最も動搖の少ない中央部に集中し**、各々專用の遊歩場と公室を持つてゐます。殊に三等室は上甲板の一部と中甲板兩舷全通となつてゐます。

□各等公室設備としては

談話室	喫煙室	食堂	ヴェランダ	ホール
娯樂場	室內電話	郵便局	電信局	理髮室
診療室	病室	運動室	洗濯室	乾燥室
化粧室	暗室	賣店	酒場	案內所

等を有し又寢具食器具高熱消毒器二臺、電動裝置の冷溫送風器八臺、果物保管所、手荷物一時預所等を有してゐます。

□乘組員の親切と食事向の善美充實は郵船の傳統的特徵であります。當社では常に司厨部員多數を定評ある日本郵船の歐米濠航路客船に派遣しその技術の練達研究に努めしめてゐます。臺灣への往來には是非一度御試乘の榮を賜りたう御座います。



飛行機上より見たる朝日丸

船客運賃

御乘船賃は左の通りであります

區間（片道）	一等	甲二等	乙二等	三等
神戸基隆相互間	六五圓	四五圓	二八圓	二〇圓
門司基隆相互間	五五圓	三七圓	二五圓	一八圓
神戸門司相互間	一九圓	一二圓	七圓	五圓

○食事　一等洋食　甲二等乙二等、三等和食

○小兒運賃　十二歲未滿半額四歲未滿一名無賃、其他は一名を增す毎に四分の一額

○團體割引　人員に應じ相當運賃の割引を致します

船車連絡

內地から臺灣へ又臺灣から內地への御旅行には船車連絡切符を御利用下さい、此れは**一枚の切符で汽車へも汽船へも乘れる至極便利のもの**であります。勿論旅客に付隨の手小荷物その他一般小荷物も連絡の取扱を致して居ります。

◉取扱驛及取扱店

左記當社各支代理店鐵道省及臺灣鐵道部驛並に相互間には當社の定期船を介する連絡切符の發賣及手小荷物連絡運送の取扱を致します。

◇當社代理店

左記支店出張所代理店にて臺灣各驛行、內地各驛行、（左記各驛）の連絡切符を發賣致します。

東京切符發賣所　橫濱、名古屋、京都、大阪、神戸、下關、門司、長崎、基隆、臺北、臺南、高雄、ツーリスト

ビューロー各案內所の各店

◇鐵道省線

（東海道線）東京、新橋、品川、川崎、橫濱、大船、國府津、沼津、靜岡、濱松、豐橋、岡崎、名古屋、岐阜、大垣、米原、大津、京都、大阪、三ノ宮、神戸、橫須賀、尼ヶ崎

（北陸線）敦賀、福井、金澤、高岡、富山

（中央線）萬世橋、八王子、甲府、鹽尻、松本

（山陽線）姬路、岡山、倉敷、笠岡、福山、尾ノ道、糸崎、海田市、廣島、巳斐、宮島、岩國、柳井、德山、三田尻、小郡、宇部、小野田、厚狹、下關、宇野、吳、吉浦、山口

（山陰線）福知山、豐岡、鳥取、米子、松江、濱田

（關西線）奈良、龜山、四日市、和歌山、津、山田

（東北線）上野、浦和、大宮、宇都宮、郡山、福島、仙臺、小牛田、盛岡、青森、新宿、澁谷、友部、水戶、高崎、足利、桐生、前橋、日光

（磐越線）會津若松

（奧羽線）米澤、山形、新庄、橫手、秋田、弘前

（信越線）輕井澤、上田、篠井、長野、高田、直江津、長岡、新津、新潟

（總武線）兩國（小荷物ニ限ル）千葉

（讃豫線）高松、丸龜

（九州線）門司、小倉、戶畑、八幡、箱崎、博多、二日市、鳥栖、久留米、大牟田、上熊本、熊本、宇土、八代、人吉、吉松、國分、加治木、伊集院、西鹿兒島、鹿兒島、佐賀、武雄、有田、諫早、長崎、唐津、西唐津、伊萬里、佐世保、中津、別府、大分、臼杵、佐伯、延岡、高鍋、宮崎、都城、小林町、若松、川內町

（北海道線）函館、小樽、札幌、旭川

◇臺灣鐵道部驛　基隆、臺北、桃園、新竹、竹南、大甲、清水、彰化、員林、田中、二水、斗六、斗南、嘉義、新營、番子田、臺南、岡山、高雄、宜蘭、羅東、蘇澳、苗栗、豐原、臺中、外車埕、鳳山、屏東

◇連絡切符の種類

船車連絡乘車船券は左記五種のものを發賣してゐます。

通用期限は發行日とも一ヶ月であります。

（イ）汽車汽船一等（ロ）汽車二等汽船一等（ハ）汽車二等汽船甲乙二等（ニ）汽車三等汽船甲乙二等（ホ）汽車汽船三等

各地乘下船案內

神戸

定期船は税關の西側（第四號突堤）岸壁（最新式にして設備完美）へ繫留致しますから乘下船共非常に便利です。三宮驛と同岸壁間約十丁、當社營業所はその中間、メリケン波止場税關監視場筋向で日本郵船支店と竝んでゐますから直ぐ分ります。手荷物運搬は着船のときは岸壁に、又三ノ宮驛御着のときは三宮驛に當社專屬山崎案內所及神戸旅行案內所の出張所で取扱つてゐますからこれを御利用下さい。運搬賃は左の通りです。

種別		本船ト市內各地相互間料金
大	手荷物和百斤以上	六十錢
中	同五十斤以上	四十錢
小	同三十斤以上	十五錢

尙山崎案內所では三宮驛本船相互間手荷物大小に拘はらず一個に付三十錢で運搬してゐます。

門司

定期船繫留岸壁は税關構內でありますが繫留後二時間以內に御上陸になれば御手荷物の税關檢査は要しません。

定期船の繫留場所は一定してゐませんが門司驛前寄りの海面に繫留致します定期船入港と同時に小蒸汽船を差立ますが碇泊中は出帆迄一時間毎に定期便で無料送迎致します尙この間數回の臨時小蒸汽船が發着致します。御乘下船場は門司驛前郵船支店際に有ます。手荷物運搬賃は左の通りです。

關門赤帽組合運搬賃（積卸賃共一切を含む）

種別	棧橋本船相互間
容積五才未滿　重量百斤未滿	壹個ニ付　二十五錢
容積二才未滿　重量二十斤未滿	同　十錢

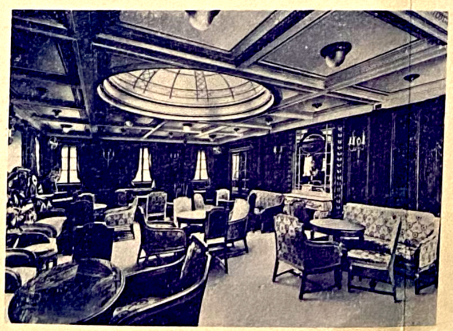
尙旅客が御携帶になる分は當社小蒸汽船便は無賃で輸送致します。

下關

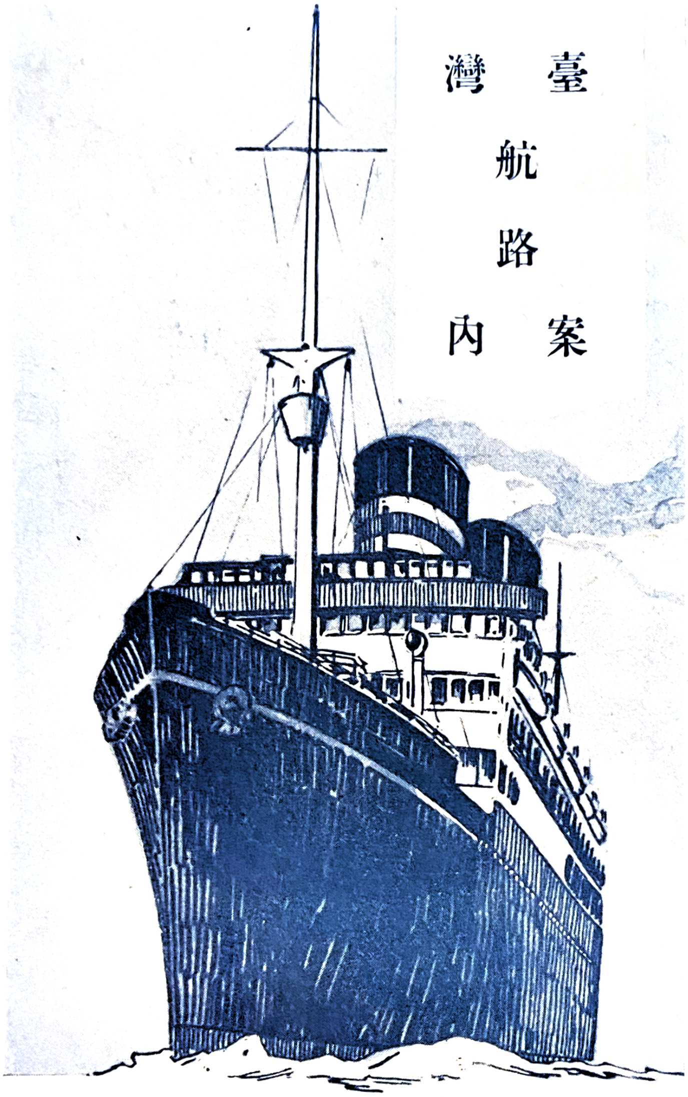
當地では市內西南部町海岸通り國際通運支店（驛より約十三丁）が當社の代理店となつてゐます同店にて乘船切符を發賣してゐます。

御乘船は當社切符發賣所棧橋又は下關驛構內鐵道棧橋より小蒸汽船が發着致しますからそれを御利用下さい。

手荷物運搬賃は門司側と同一です。



談話室



臺灣航路案内

近海郵船株式會社

當社支店代理店

◆本店及支店

本店　東京市丸ノ内郵船ビル　電話丸ノ内（二三五一一—二五二九　（二五三一—二五三七

神戸營業所　神戸市海岸通り一丁目　電話三宮一二九一—一三五

基隆支店　基隆驛前　電話六一、六二、六三、

臺北船客切符發賣所　臺北驛前　電話六八一、七〇七

臺南船客切符發賣所　臺南市三井物産支店内

高雄船客切符發賣所　高雄市三井物産支店内

東京支店　日本橋區蠣殼町二丁目一番地　電話茅場町二四一—二四七

天津支店　佛租界河岸　電話三〇三五四、三一二一三

函館支店　函館市船場町　電話三九〇〇（代表）

小樽支店　小樽手宮町　電話三三二、四二三

◆代理店及切符發賣所

日本郵船株式會社

東京船客切符發賣所　東京市丸ノ内郵船ビル　郵船船客課内電話本店に同じ

横濱支店　横濱市海岸通四丁目十八番地　電話本局（三八三一—三八三七　（三九三一—三九三七

名古屋支店　名古屋市中區天王崎町四番地　電話本局一一七一（代表）

大阪支店　大阪市西區川口町廿五—廿六番地　電話西三五—三七、三八三

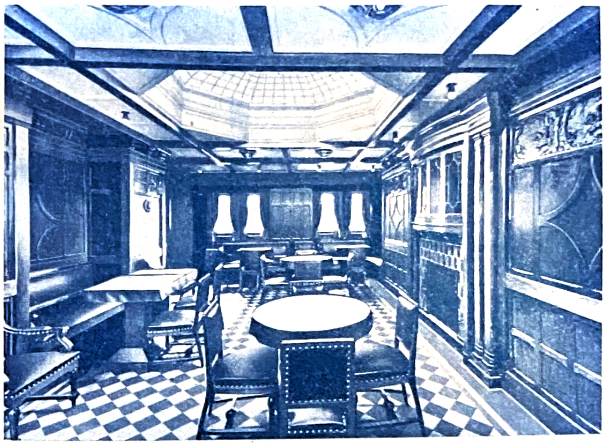
大阪船客切符發賣所　大阪市東區堺筋白木屋百貨店向側　電話本町一、六四五—一、六四六

門司支店　門司市濱町六番地（驛前）　電話四二、四三、八三

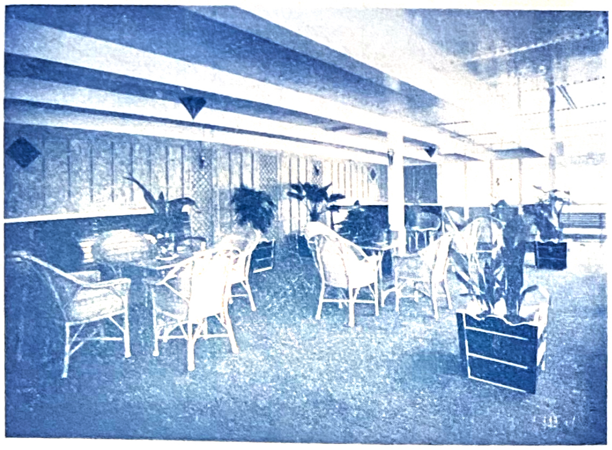
下關船客切符發賣所　下關市西南部町國際通運支店内　電話特四六、一三、三四〇

長崎支店　長崎市常盤町四番地　電話二九五〇

京都郵船組　電話京都市大宮通り七條下ル　電話三二二、二四四六



喫煙室



ヴエランダ

基隆

各船とも第二又は第三岸壁に繫留致します。汽船の繫留場所と停車場間は精々百歩位のものであります。當社の支店は驛直前にありますから切符の購入、手荷物の托送には至極便利で御座います。尙支店樓上は船客待合所となつてゐますから御乘下船とも御立寄御使用下さい。

手荷物は左の通り運搬致しますから基隆入港の前夜迄に船員へ御委托を願ます。

基隆驛渡	壹個に付	十五錢
臺北驛渡、同市內配達	同	卅錢

手荷物壹個の重量は約百斤以內です。

手荷物

□手荷物は陸揚地、航海中要、不要等に依り船內積入場所を異にし其の取扱竝に積卸の錯誤を防ぐため、姓名、行先地、船名竝に「航海中入用」「航海中不用」等の區別を明記したる荷札を緊結下さい。荷札は御申出になればいくらでも差上げます。

□手荷物は左記數量迄は無賃運送致します。

手荷物無賃制限量（括弧內の數字は船車連帶の場合に適用す）

等級	社船	省線又は部線
一等	二十才又は百五十斤（九十瓩又は〇・六立方米）	六十瓩
甲乙二等	十五才又は百二十斤（七十瓩又は〇・四立方米）	四十瓩
三等	十才又は六十斤（卌五瓩又は〇・三立方米）	三十瓩

無賃制限量を超過するときはその超過數量に對し一立方尺（〇・〇三立方米）又は十斤（六瓩）毎につき左の通りの運賃をいたゞきます。

神戶―門司相互間	二十錢
神戶―基隆相互間	三十錢
門司―基隆相互間	三十錢

□普通携帶せらるゝ小風呂敷包、毛布、手提鞄、等の如き小形手廻品竝に甲板椅子（一人一個限り）等は無賃で取扱致します。

□御赴任又は御轉任の際御引越荷物等は一切當社各支店代理店及國際通運支店、取引店にて丁寧に且つ低廉に引受海陸連絡の運送を致します。

定期

出帆日は毎二週三回（例へば第一週の火曜日土曜と次週の木曜日といつたように）で左の通りです。尙日時は各地主要新聞に廣告してあります。詳細は最寄支店代理店へ御照會下さい。

發着地名	臺灣行 神戶發	臺灣行 門司着	臺灣行 門司發	臺灣行 基隆着	船名	內地行 基隆發	內地行 門司着	內地行 門司發	內地行 神戶着
夏季（自四月至九月）	正午	前六時	正午	后一時半	船名	前十時	后二時	后六時	后一時
	火	水		金	吉野丸	火	木		金
	土	日		火	朝日丸	土	月		火
	木	金		日	大和丸	木	土		日
冬季（自十月至三月）	正午	前七時	正午	后三時	船名	后四時	前八時	后一時	前八時
	月	火		木	吉野丸	月	木		金
	土	日		火	朝日丸	金	月		火
	水	木		土	大和丸	水	土		日

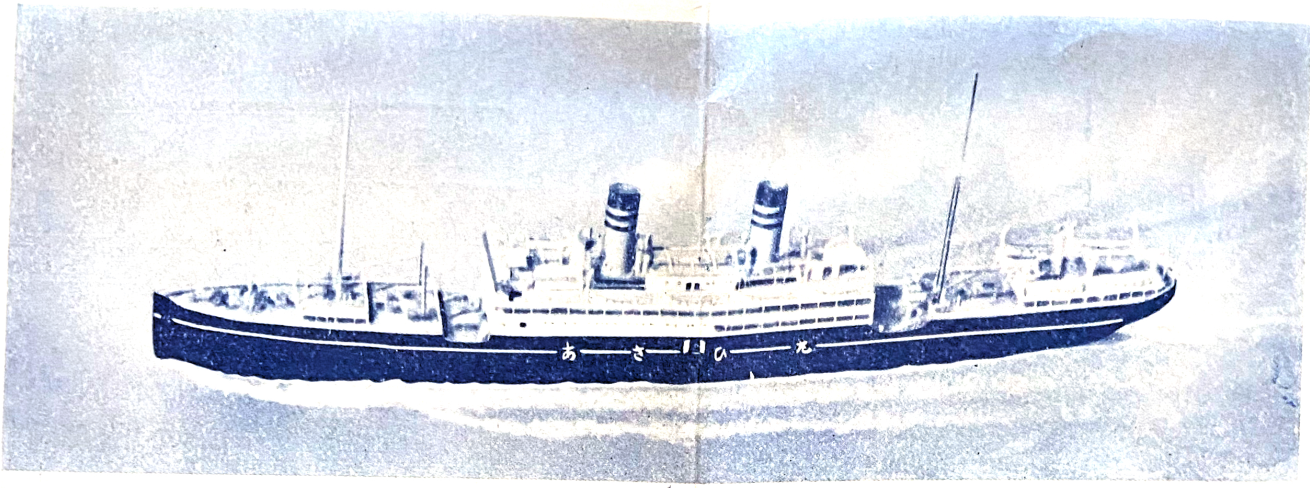
基隆着は速力潮流の關係上早い時は午前十一時頃のことがあります、大概一時頃迄に入港します。

遊歩甲板

臺灣航路案内

近海郵船株式會社

（昭和五年三月）



飛行機上より見たる朝日丸

使用船と設備

船名	總噸數	速力
大和丸	九、八〇〇噸	十八浬
朝日丸	九、七五〇噸	十八浬
吉野丸	九、〇〇三噸	十七浬半

□何れも船客定員八百餘人を有する一萬噸級の大型客船で本航路切つての**最大、最新、最速、最美**の定期船として自他共に許されてゐます。

□各等**客室は總て最も動搖の少ない中央部に集中し、**各々專用の遊歩場と公室を持つてゐます。殊に三等室は上甲板の一部と中甲板兩舷全通となつてゐます。

□各等公室設備としては

談話室　喫煙室　食堂　ヴェランダホール
娯樂場　室內電話　郵便局　電信局　理髪室
診療室　病室　運動室　洗濯室　乾燥室
化粧室　暗室　賣店　酒場　案内所

等を有し又寢具食器具高熱消毒器二臺、電動裝置の冷溫送風器八臺、果物保管所、手荷物一時預所等を有してゐます。

□乘組員の親切と食事向の善美充實は郵船の傳統的特徴であります。當社では常に司厨部員多數を定評ある日本郵船の歐米濠航路客船に派遣しその技術の練達研究に努めしめてゐます。臺灣への往來には是非一度御試乘の榮を賜りたう御座います。

船客運賃

御乘船賃は左の通りであります

區間（片道）	一等	甲二等	乙二等	三等
神戸基隆相互間	六五圓	四五圓	二八圓	二〇圓
門司基隆相互間	五五圓	三七圓	二五圓	一八圓
神戸門司相互間	一九圓	一二圓	七圓	五圓

○食事　一等洋食　甲二等乙二等、三等和食

○小兒運賃　十二歲未滿半額四歲未滿一名無賃、其他は一名を増す每に四分の一額

○團體割引　人員に應じ相當運賃の割引を致します

船車連絡

内地から臺灣へ又臺灣から内地への御旅行には船車連絡切符を御利用下さい、此れは**一枚の切符で汽車へも汽船へも乘れる至極便利のもの**であります。勿論旅客に付隨の手小荷物その他一般小荷物も連絡の取扱を致して居ります。

◉**取扱驛及取扱店**

左記當社各支代理店鐵道省及臺灣鐵道部驛竝に相互間には當社の定期船を介する連絡切符の發賣及手小荷物連絡運送の取扱を致します。

◇**當社代理店**

左記支店出張所代理店にて臺灣各驛行、内地各驛行、（左記各驛）の連絡切符を發賣致します。

東京切符發賣所　横濱、名古屋、京都、大阪、神戸、下關、門司、長崎、基隆、臺北、臺南、高雄、ツーリストビューロー各案内所の各店

◇**鐵道省線**

〔東海道線〕東京、新橋、品川、川崎、横濱、大船、國府津、沼津、靜岡、濱松、豊橋、岡崎、名古屋、岐阜、大垣、米原、大津、京都、大阪、三ノ宮、神戸、横須賀、尼ヶ崎

〔北陸線〕敦賀、福井、金澤、高岡、富山

〔中央線〕萬世橋、八王子、甲府、鹽尻、松本

〔山陽線〕姫路、岡山、倉敷、笠岡、福山、尾ノ道、糸崎、海田市、廣島、己斐、宮島、岩國、柳井、德山、三田尻、小郡、宇部、小野田、厚狹、下關、宇野、吳、吉浦、山口

◇鐵道省線

〔東海道線〕東京、新橋、品川、川崎、横濱、大船、國府津、沼津、静岡、濱松、豐橋、岡崎、名古屋、岐阜、大垣、米原、大津、京都、大阪、三ノ宮、神戸、横須賀、尼ヶ崎

〔北陸線〕敦賀、福井、金澤、高岡、富山

〔中央線〕萬世橋、八王子、甲府、鹽尻、松本

〔山陽線〕姫路、岡山、倉敷、笠岡、福山、尾ノ道、糸崎、海田市、廣島、已斐、宮島、岩國、柳井、徳山、三田尻、小郡、宇部、小野田、厚狭、下關、宇野、呉、吉浦、山口

〔山陰線〕福知山、豊岡、鳥取、米子、松江、濱田

〔關西線〕奈良、龜山、四日市、和歌山、津、山田

〔東北線〕上野、浦和、大宮、宇都宮、郡山、福島、仙臺、小牛田、盛岡、青森、新宿、澁谷、友部、水戸、高崎、足利、桐生、前橋、日光

〔磐越線〕會津若松

〔奥羽線〕米澤、山形、新庄、横手、秋田、弘前

〔信越線〕輕井澤、上田、篠井、長野、高田、直江津、長岡、新津、新潟

〔總武線〕兩國(小荷物ニ限ル)千葉

〔讃豫線〕高松、丸龜

〔九州線〕門司、小倉、戸畑、八幡、箱崎、博多、二日市、鳥栖、久留米、大牟田、上熊本、熊本、宇土、八代、人吉、吉松、國分、加治木、伊集院、西鹿兒島、鹿兒島、佐賀、武雄、有田、諫早、長崎、唐津、西唐津、伊萬里、佐世保、中津、別府、大分、臼杵、佐伯、延岡、高鍋、宮崎、都城、小林町、若松、川内町

〔北海道線〕函館、小樽、札幌、旭川

◇臺灣鐵道部驛

基隆、臺北、桃園、新竹、竹南、大甲、清水、彰化、員林、田中、二水、斗六、斗南、嘉義、新營、番子田、臺南、岡山、高雄、宜蘭、羅東、蘇澳、苗栗、豊原、臺中、外車埕、鳳山、屏東

◇連絡切符の種類

船車連絡乘車船券は左記五種のものを發賣してゐます。
通用期限は發行日とも一ヶ月であります。
(イ)汽車汽船一等(ロ)汽車二等汽船一等(ハ)汽車二等汽船甲乙二等(ニ)汽車三等汽船甲乙二等(ホ)汽車汽船三等

各地乘下船案内

神戸

定期船は税關の西側(第四號突堤)岸壁(最新式にして設備完美)へ繋留致しますから乘下船共非常に便利です。三宮驛と同岸壁間約十丁、當社營業所は その中間、メリケン波止場税關監視場筋向で日本郵船支店と竝んでゐますから直ぐ分ります。
手荷物運搬は着船のときは岸壁に、又三ノ宮驛御着のときは三宮驛に當社專屬山崎案内所及神戸旅行案内所の出張所で取扱つてゐますからこれを御利用下さい。
運搬賃は左の通りです。

種別		本船ト市内各地相互間料金	
大手荷物	和百斤以上	壹個ニ付	六十錢
中	同五十斤以上	同	四十錢
小	同三十斤以上	同	十五錢

尚山崎案内所では三宮驛本船相互間手荷物大小に拘はらず一個に付三十錢で運搬してゐます。
定期船繋留岸壁は税關構内でありますが繋留後二時間以内に御上陸になれば御手荷物の税關検査は要しません。

門司

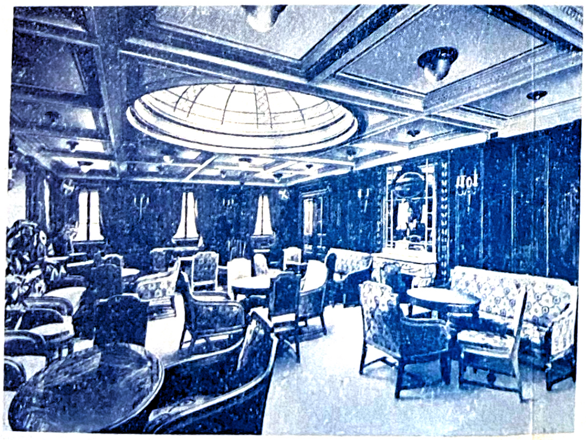
定期船の繋留場所は一定してゐませんが門司驛前寄りの海面に繋留致します定期船入港と同時に小蒸汽船を差立ますが碇泊中は出帆迄一時間毎に定期便で無料送迎致します尚この間數回の臨時小蒸汽船が發着致します。御乘下船場は門司驛前郵船支店際に有ます。手荷物運搬賃は左の通りです。
關門赤帽組合運搬賃(積卸賃共一切を含む)

種別	棧橋本船相互間	
容積五才未滿 重量百斤未滿	壹個ニ付	二十五錢
容積二才未滿 重量二十斤未滿	同	十錢

尚旅客が御携帶になる分は當社小蒸汽船便は無賃で輸送致します。

下關

當地では市内西南部町海岸通り國際通運支店(驛より約十三丁)が當社の代理店となつてゐます同店にて乘船切符を發賣してゐます。
御乘船は當社切符發賣所棧橋又は下關驛構内鐵道棧橋より小蒸汽船が發着致しますからそれを御利用下さい。
手荷物運搬賃は門司側と同一です。



談話室